

# 国立国会図書館における 東日本大震災アーカイブの取り組み

2012/01/11

～震災に関するあらゆる記録・教訓を、次の世代へ～

# 事業の目的

2

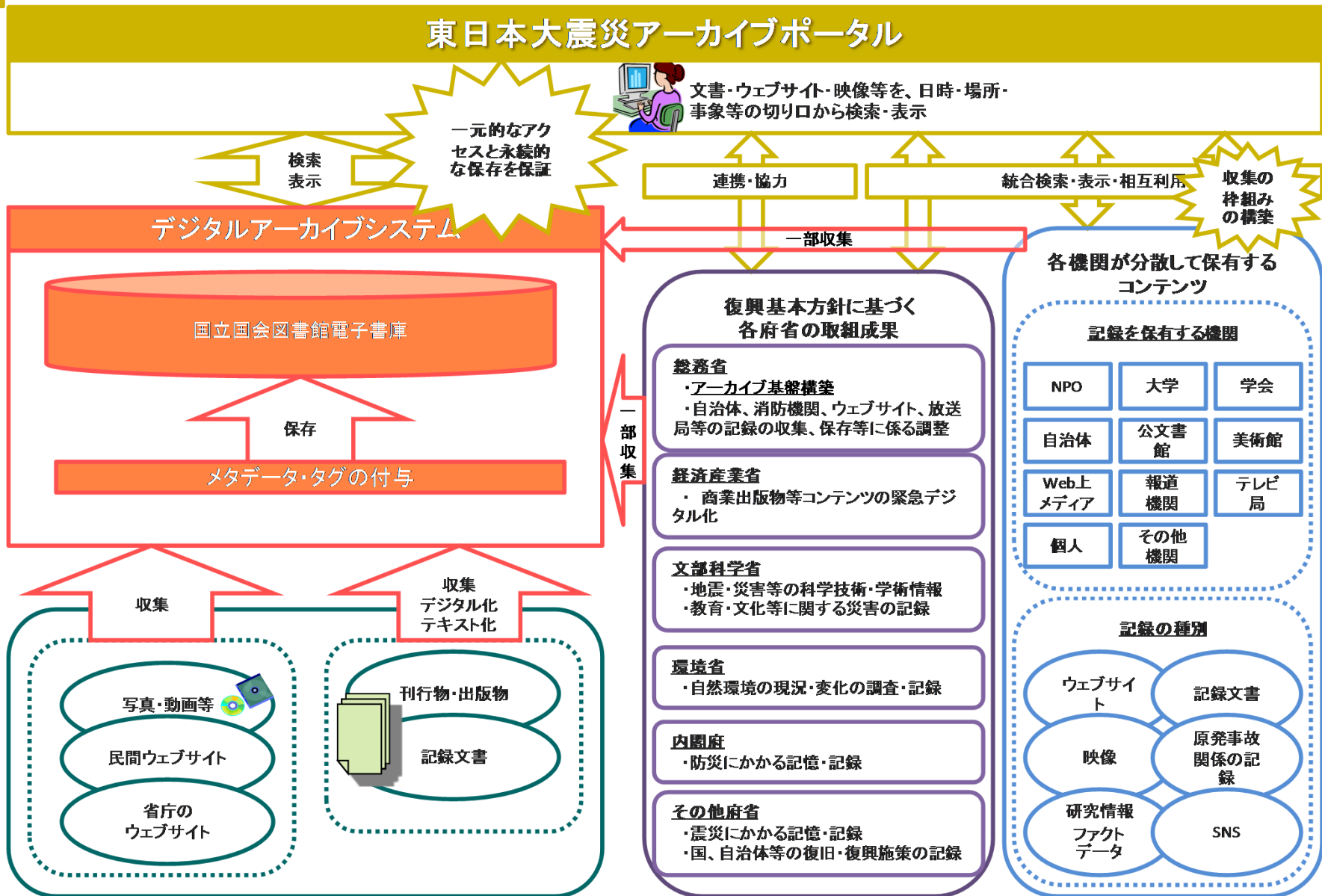
- 「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日決定、8月11日改訂)に基づき、被災地の復興事業、今後の防災・減災対策、学術研究、教育等への活用に資するため、東日本大震災及び過去に発生した地震・津波の記録・教訓を網羅的に収集し、誰もがアクセス可能な仕組みを構築し、後世へ永続的に残していくこと

※「東日本大震災からの復興の基本方針」5(4)⑥(ii)

(前略)地震・津波災害、原子力災害の記録・教訓の収集・保存・公開体制の整備を図る。その際、被災地域における公文書等の保全・保存を図るとともに、国内外で過去発生した地震・津波の教訓も共有する。情報通信技術を活用しつつ、これらの記録・教訓のみでなく、地域情報、書籍など関係する資料・映像等のデジタル化を促進する。また、今回の震災における消防機関等の活動記録を集積し、その分析・検証を行う。こうした記録等について、国内外を問わず、誰もがアクセス可能な一元的に保存・活用できる仕組みを構築し、広く国内外に情報を発信する。

# 当館取り組みの全体イメージ

3



# 事業の基本理念

4

1. 東日本大震災及び過去の震災に関する記録・教訓を、国全体として収集・保存・提供すること
2. 関係する官民の機関それぞれの強みを活かし、分担、連携、協力し、全体として国の震災アーカイブを構築すること
3. 記録の保存の意義の周知に努め、国全体として保存が進むように努める
4. 記録・教訓を国内外に発信するとともに後世に永続的に伝え、被災地の復興事業、今後の防災・減災対策、学術研究、教育等への活用に資すること

# 当館の取り組み方針

5

- 当館のノウハウ・強みを活かす
  - 納本制度に基づく物理的資料の収集／ウェブサイト収集／震災に関する紙資料のデジタル化
  - 他機関が強みを持つ部分(例:個人からのコンテンツの投稿)は、他機関にまかせる
- インターネット資料等デジタル資料の収集・保存・提供に重点を置く
  - デジタル資料の方が、物理的資料に比べ散逸のリスクが高い
  - テキストのみならず、動画・画像・音声等幅広い媒体を対象とする
- 収集したコンテンツは原則公開を目指す
  - 法的問題等により公開が困難なコンテンツについては、ダークアーカイブも視野に入れ検討を進める
- 関係機関との役割分担・連携協力において積極的に調整を行う
  - APIやメタデータ等の、共通化すべき部分の共通化
  - ラウンドテーブルを総務省と共催し、関係プロジェクト間の役割分担・各種調整を行う
- 国全体に分散して存在する記録の所在を一元的に把握、検索することのできる仕組み(ポータル)を構築する

# これまでに実施した取り組み

6

- 公的機関ウェブサイトの緊急収集
  - 被災地自治体／国の関係機関のウェブサイトについて、収集頻度を上げて収集
- 『石巻日日新聞』号外のデジタル化
- Internet Archiveとの連携
  - 収集すべき民間ウェブサイトに関する情報を提供
  - Internet Archiveが収集したウェブサイトは「[ARCHIVE-IT COLLECTION: Japan Earthquake](#)」にて公開されている
- ハーバード大学ライシャワー日本研究所との連携
  - 東日本大震災に関するデジタルアーカイブ共同事業に関する協定を締結
  - 当館: 収集すべき民間ウェブサイトに関する情報を提供
  - ハーバード大: アーカイブ資料へのアクセス権／開発成果の情報共有

# 今後のスケジュール

7

- 平成23年度：震災アーカイブ構築のための事前調査の実施
  - 調査結果を総務省調査作業へ引き継ぎ、平成24年度に詳細化
- 平成24年度：震災アーカイブシステムの開発
  - 既存のシステム資源(デジタルアーカイブシステム、NDLサーチ)を活用して開発、早期の公開を目指す
  - 総務省で開発する基盤ソフトウェアを、当館開発成果に導入
- 平成25年度以降：コンテンツ／サービスのさらなる充実

# 将来展望

8

- コンテンツデータ／メタデータ等を基盤データとして提供し、活用可能に(API公開／マッシュアップによる民間での活用／OSSとして公開...)
- 運営が難しくなったアーカイブプロジェクトのコンテンツを引き取り、当館で長期保存
- 知識の基盤として、誰もが活用できるように⇒知識インフラの実現へ



関係機関のみなさまと連携・協力し、  
全体として次世代に役立つ震災アーカイブ  
を実現したいと考えております。  
みなさまのアイデア、ご協力をお待ちしております。